

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭64-7760

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和64年(1989)1月17日

H 01 M 2/10
10/46

1 0 1

S-6340-5H
8424-5H

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 バッテリーケースの構造

⑯ 実 願 昭62-101764

⑰ 出 願 昭62(1987)7月3日

⑱ 考 案 者 和 田 勝 東京都渋谷区渋谷2丁目17番5号 株式会社ケンウッド内

⑲ 出 願 人 株式会社ケンウッド 東京都渋谷区渋谷2丁目17番5号

⑳ 実用新案登録請求の範囲

携帯用無線機等に使用される着脱可能なバッテリーケースにおいて、

前記バッテリーケースに露出させて設けた充電用の端子の近傍に充電器の充電端子と当る凸部を形成して、充電器への装着時における装着感をもたせるように構成したことを特徴とするバッテリーケースの構造。

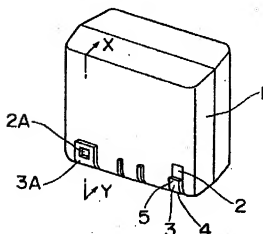
図面の簡単な説明

第1図乃至第3図は、この考案による実施例を示し、第1図はバッテリーケースの斜視図、第2図イは+端子近傍に設けたくさび状の凸部の側面

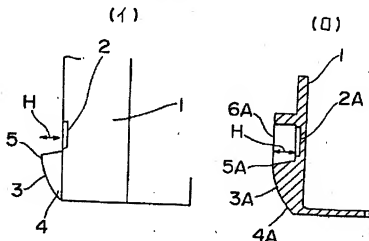
図、第2図ロは-端子近傍に設けた別の凸部の中心線XYでの断面図、第3図はバッテリーケースを充電器のポケットに挿入している状態を示す断面図、第4図は従来のバッテリーケースの斜視図、第5図は従来のバッテリーケースを充電器のポケットに挿入した状態を示す断面図である。

主な用語の説明、1：バッテリーケース、2：+端子、2A：-端子、3、3A：凸部、4、4A：肉厚部、5、5A：肉厚部、6A：延長部分、7：ポケット、8：+充電端子、8a：先端部。

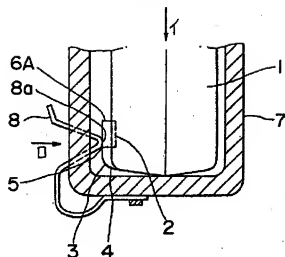
第1図



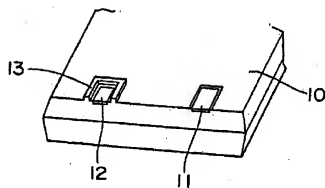
第2図



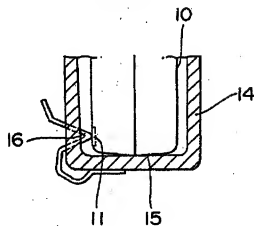
第3図



第4図



第5図



公開実用 昭和64- 7760

⑬ 日本国特許庁(J P)

⑭ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭64-7760

⑮ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑯ 公開 昭和64年(1989)1月17日

H 01 M 2/10
10/46

1 0 1

S-6340-5H
8424-5H

審査請求 未請求 (全 頁)

⑰ 考案の名称 バッテリケースの構造

⑱ 実 願 昭62-101764

⑲ 出 願 昭62(1987)7月3日

⑳ 考 案 者 和 田 勝 東京都渋谷区渋谷2丁目17番5号 株式会社ケンウッド内

㉑ 出 願 人 株式会社ケンウッド 東京都渋谷区渋谷2丁目17番5号

明 細 書

1. 考案の名称

バッテリーケースの構造

2. 実用新案登録請求の範囲

携帯用無線機等に使用される着脱可能なバッテリーケースにおいて、

前記バッテリーケースに露出させて設けた充電用の端子の近傍に充電器の充電端子と当る凸部を形成して、充電器への装着時における装着感をもたせるように構成したことを特徴とするバッテリーケースの構造。

3. 考案の詳細な説明

(イ) 産業上の利用分野

この考案は携帯用無線機等に使用される着脱可能な、しかも充電可能なバッテリーケースの構造に関する。

(ロ) 従来技術

従来より、バッテリーケースの構造としては、例えば、第4図に示すように、バッテリーケース10上に(+)端子11と(-)端子12を設け、更に、短

公開実用 昭和64— 7760

絡事故を防止するために（－）端子12の周辺にコの字状の突部13を形成したバッテリーケースの構造が提供されていた。

（ハ）考案が解決しようとする問題点

しかし、上記した従来のものにおいては、バッテリーケース10が、充電器のポケット14の底部15にあたると、充電器の（＋）充電端子16が（＋）端子11に、また（－）充電端子（図示していない）が（－）端子12にそれぞれ接触して充電が始まるようになっているが、バッテリーケース10のポケット14への確実な装着感がないため、充電がはじまったのかはじまらないのかが明確にわからないという欠点があった。

この考案は、上記した点に鑑みてなされたものであって、その目的とするところは、バッテリーケースをポケット型充電器に挿入した時、確実な装着感の得られるバッテリーケースの構造を提供することにある。

（ニ）問題が解決するための手段

この考案に係るバッテリーケースの構造は、携帯



用無線機等に使用される着脱可能なバッテリーケースにおいて、前記バッテリーケースに露出させて設けた充電用の端子の近傍に充電器の充電端子と当たる凸部を形成して充電器への装着時における装着感をもたせるように構成したものである。

(ホ) 作用

この考案によれば、バッテリーケースに凸部を形成したので充電器のポケットにバッテリーケースを挿入するとき、充電器の充電端子が前記バッテリーケースに設けた凸部をのりこえてからバッテリーの（＋）端子或は、（－）端子に接触するので、バッテリーケースの確実な装着感を得ることができる。

(ヘ) 実施例

この考案に係るバッテリーケースの構造の実施例を第1図乃至第3図に基づいて説明する。

第1図はバッテリーケースの斜視図、第2図（イ）は（＋）端子近傍に設けたくさび状の凸部の側面図、第2図（ロ）は（－）端子近傍に設けた別の凸部の中心線XYでの断面図、第3図は

公開実用 昭和64— 7760

バッテリーケースを充電器のポケットに挿入している状態を示す断面図である。

図中 1 はバッテリーケース、2 はバッテリーケース 1 上に露出している (+) 端子、2A は (-) 端子、3 は (+) 端子 2 近傍に形成したくさび状の凸部、4 は凸部 3 の比較的肉の薄い肉薄部、5 は凸部 3 の最も肉の厚い肉厚部であって、凸部 3 は、肉薄部 4 と肉厚部 5 とで構成されている。

また、3A は (-) 端子 2A 近傍に形成した別の凸部であって、4A は凸部 3A の比較的肉の薄い肉薄部、5A は凸部 3A の最も肉の厚い肉厚部、6A は (-) 端子 2A の周囲に形成した凸部 3A の延長部分であって、凸部 3A は肉薄部 4A、肉厚部 5A と延長部分 6A とで構成されている。

このように構成されたバッテリーケース 1 を充電器のポケット 7 に矢印イ方向に挿入する場合、充電器の (+) 充電端子 8 の先端部 8a は、まず、バッテリーケース 1 上に設けた凸部 3 の肉薄部 4 に当たり、また充電器の (-) 充電端子の先端部 (図示していない) は凸部 3A の肉薄部 4A に当た

る。

そしてバッテリーケース 1 を更に挿入すると、
(+) 充電端子 8 と (-) 充電端子はバネ性を有
して常矢印口方向に付勢されているので、
やがて (+) 充電端子 8 と (-) 充電端子はそれ
ぞれ凸部 3、3A の肉厚部 5、5A をのり越えて
(+) 充電端子 8 の先端部 8a は (+) 端子 2 に、
また (-) 充電端子の先端部は (-) 端子 2A にそ
れぞれ接触する共にバッテリーケース 1 は、充電器
のポケット 7 に確実に位置ぎめされる。

また、(+) 充電端子 8 と (-) 充電端子が前
記凸部 3、3A から各々 (+) 端子 2、(-) 端子
2A に移る際、凸部 3、3A の段差 H によってバッテ
リケース 1 の確実な装着感が得られると共にバッ
テリ (図示していない) への確実な充電が開始さ
れたことを確認することができる。

(ト) 考案の効果

この考案に係るバッテリーケースの構造によれ
ば、バッテリーケースに凸部を形成したので充電器
のポケットにバッテリーケースを挿入するとき、充

電器の充電端子が前記バッテリーケースに設けた凸部をのりこえてからバッテリーの（+）端子或は、（-）端子に接触するのでバッテリーケースの確実な装着感を得ることができる。

しかも、安価に構成することが出来るため、実施も容易である等の優れた特長を有している。

4. 図面の簡単な説明

第1図乃至第3図は、この考案による実施例を示し、第1図はバッテリーケースの斜視図、第2図（イ）は（+）端子近傍に設けたくさび状の凸部の側面図、第2図（ロ）は（-）端子近傍に設けた別の凸部の中心線XYでの断面図、第3図はバッテリーケースを充電器のポケットに挿入している状態を示す断面図、第4図は従来のバッテリーケースの斜視図、第5図は従来のバッテリーケースを充電器のポケットに挿入した状態を示す断面図である。

主な用語の説明

1：バッテリーケース

2 : (+) 端子 2A : (-) 端子

3 , 3A : 凸部

4 , 4A : 肉薄部

5 , 5A : 肉厚部

6A : 延長部分

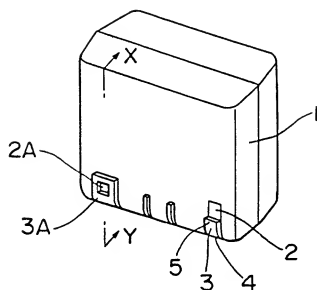
7 : ポケット

8 : (+) 充電端子 8a : 先端部

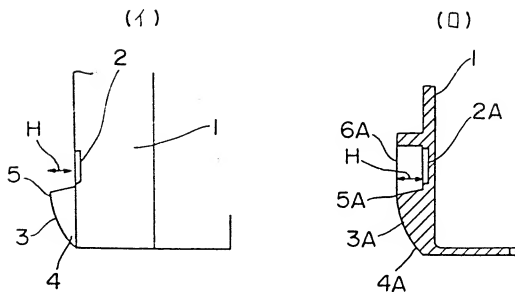
実用新案登録出願人 株式会社ケンウッド

公開実用 昭和64- 7760

第 1 図

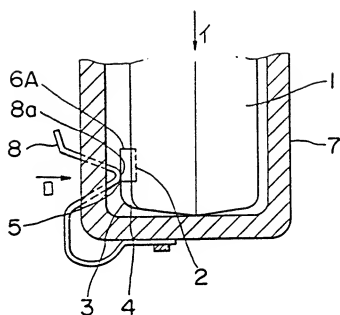


第 2 図

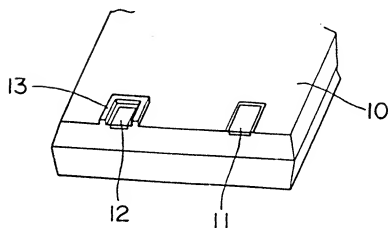


667

第 3 図



第 4 図



668

第 5 図

